



交通問題の改善



廣谷 学さん
(下延生)

芳賀町で暮らし始め、約5年が経ちました。これまで長野や群馬、宇都宮、アメリカ等のさまざまな地での生活を経験してきましたが、芳賀町での暮らしはとても快適です。交通の便を除いては。バスはあるが料金が高く、バス停が少なく、夜の運行もない。実用するには至らないモノです。LRT開通の話を聞きますが、LRTが先述した問題を解決できるのか、課題となっている通勤渋滞緩和を達成できるのか、バスの運行改善ではダメなのか疑問が残ります。

芳賀町に働きに来ている人が芳賀町に住めば、渋滞緩和とともに少子化対策や人口増につながりメリットは大きい。なぜ彼らが芳賀町に住まないのか、何が妨げになっているのか。彼らの誘致を真剣に考えてみてはいかがでしょうか。また、バスの運用改善で、今ある交通問題の解決ができないのか。十分な検討とともに町民への説明をお願いします。

地域との共生を望む



黒崎 順さん
(上稲毛田)

私は、ゴルフ場のある地域でゴルフ愛好会の会長をしています。会の目的は親睦と健康維持増進を図ることです。ゴルフができることは健康である証と考えています。昨年は、町民（町内従事者も含む）であればプレー費が安くなる「芳賀町優待カード」がありましたが、今年から「優待カード」がなくなってしまい残念です。

芳賀チャンネル「ゴルフレッスン」の番組も見ています。町内には、ゴルフ連盟や町内の愛好会が行うコンペが沢山あります。ゴルフは健康スポーツです。利用が増えることは町民の医療費抑制とゴルフ利用税増額になるメリットがあると思います。

地域（町民）とゴルフ場の共生を望みます。



ゴールデンエイジにできること



若柵 睦子さん
(東水沼)

9歳～12歳頃の時期を「ゴールデンエイジ」というそうです。個人差はありますが、この時期に神経系の発達がほぼ100%に達するため、さまざまな動きを体験することで、運動能力は飛躍的にアップするといえます。

私自身は、いわゆる運動音痴で、体育の授業はいつも憂鬱でした。しかし幸いなことに、我が家の子どもたちは体を動かすことが大好きです。小4の長女はバレーボールを始めて1年半が経ちます。ボールを追う姿は生き生きとしており、羨ましく思うほどです。

部活動は中学生になってから・・・と考えている方も多いと思いますが、親が忙しいのはいつでも同じです。だったら、メリットが大きい小学生から始めてみませんか？誰にでも訪れるゴールデンエイジ。スポーツに親しむ基盤となる時期でもあります。家庭はもちろん、学校や町全体で子どもたちの「やる気」に応える環境づくりをしたいものです。